

としょかん つうしん

通巻41号

(平成19年10月)

編集・発行 印西市立大森図書館

図書館ホームページ

・パソコン から…

<http://www.library.city.inzai.chiba.jp/>

・i-mode から…

<http://www.library.city.inzai.chiba.jp/i/>

知っていますか？ 読書週間

みなさんは「読書週間」を知っていますか？

「読書週間」というのは、読書推進運動協議会が主催している読書の普及を目的とした事業のことで、毎年10月27日から11月9日まで開催されています。この「読書週間」のはじまりは昭和22年、終戦の2年後のことです。まだ戦火の傷痕が至るところに残っているとき、「読書の力によって、平和な文化国家を創ろう」と決意をひとつに、出版社、取次会社、書店と公共図書館が力を合わせ、さらに新聞・放送のマスコミ機関の協力のもとに、第1回「読書週間」が開催されました。



「読書週間」のマーク



「読書週間」2007年度ポスター

第1回の「読書週間」は11月17日から23日。これは11月16日から1週間にわたって開かれるアメリカの「チルドレンズ・ブック・ウィーク」になったものです。各地で講演会・図書に関する展示会が開かれ、その反響は大きなものでした。「一週間では惜しい」との声を受け、現在の10月27日から11月9日（文化の日をはさんで2週間）となったのは、第2回からです。また、2005年に制定された「文字・活字文化振興法」では、「読書週間」が始まる10月27日を「文字・活字文化の日」と定めています。

このように、戦後間もない時期から60年間、日本では読書を推進する活動が続けられており、今も様々な場でイベントが行なわれています。ぜひ、この「読書週間」をきっかけに、本を手に取り、読書の素晴らしさを再認識していただければと思います。

11月3日(土・祝)は大森・小倉台図書館のみ開館します。

11月3日(土・祝)は大森図書館・小倉台図書館の2館のみ開館いたします。小林図書館・そうふけ図書館は休館となりますのでご注意ください。



楽しかったね！～行事報告～

7～8月の夏休み期間に、図書館では子ども向けの事業を行ないました！
どんな様子だったのか、ちょっとのぞいて見ましょう。

～図書館探検隊～ (大森・小倉台・そうふけ図書館)

ただいま
本の修理中！

<大森図書館> 2007.8.2(木)

大森図書館ではじめての『図書館探検隊』を行ないました。参加人数は小学校1年生から6年生までの15名でした。低学年グループは本のお掃除やきれいにした本を本棚に戻す作業を、高学年グループは貸出しと返却といったカウンター業務や本にビニールコートをかける体験をしました。

みんな一生懸命作業してくれて、「楽しかった」「またやりたい」といううれしい感想をよせてくれました。



<小倉台図書館> 2007.8.9(木)

恒例となった小倉台図書館での『図書館探検隊』。今年の参加者は12名。例年どおり図書館の中を見学したり(普段は入れない書庫を見て、その本の多さにびっくりしていました)カウンター業務や本を棚にもどす作業などを行い、あっという間に予定時間になってしまいました。中でも人気があった仕事は、やはりカウンター業務でしょうか？最初は緊張していたようですが、だんだん慣れて、利用者の皆さんにきちんと挨拶が出来ていたようです。

<そうふけ図書館> 2007.8.23(木)

そうふけ図書館での『図書館探検隊』は、市内の小学4・5・6年生5名が集まって、日頃見ることができない仕事を楽しく体験することができました。

本の貸出・返却の作業のほかにも、本の検索や返却本を棚に戻したり、いたんだ資料の修理もみんなで行ないました。参加した子どもたちからは「図書館の裏側を知ることができて、図書館についてもっと興味をもった」「また是非やりたいっ」という感想を聞くことができました。

～科学あそび～ (小倉台図書館)



今年の科学あそびは「ゴム」について、ゴム風船をつかってその特性を知ってもらいました。作った「ゴム風船」が走らなかつたり、バルーンアートに悪戦苦闘していたようですが、参加した7人の子どもたちはみんな楽しそうでした。

先生役の職員も作れなかった難しいバルーンアートにも果敢にチャレンジしていましたよ！

図書館・これからの催し

～ 図書館懇談会～ (小林図書館)

皆様にとってより身近で利用しやすい図書館を目指して、懇談会を開催します。

これからの印西の図書館について一緒に話してみませんか？ 事前の申し込みは不要ですので、ぜひお気軽にご参加ください！

<日時> 10月20日(土)
午前10時から

<場所> 小林公民館 集会室2

<問い合わせ> 大森図書館(42-8686)

～ ブックリサイクル～ (大森図書館)

雑誌・図書のリサイクルを行います。みなさまのお越しをお待ちいたしております。

<日時> 10月21日(日)
印西よかっぺ夢まつり当日
午前10時から午後3時まで

<場所> 文化ホール1階ホワイエ

<対象> 保存年限を過ぎた雑誌・図書など

<問い合わせ> 大森図書館(42-8686)

～ おはなし会～

事情で日程が変更になることもありますので、ご注意ください。

各図書館で毎月定期的におはなし会を行っています。
ぜひお気軽にお立ち寄り下さい。

大森図書館	第2・4土曜日/午後3時～
小林図書館	第4土曜日/午後3時～
そうふけ図書館	第1～4土曜日/午後3時～
小倉台図書館	第1・3木曜日/午後3時半～

図書館からのお知らせ

栄町・印旛村・本埜村にお住まいの皆様へ

9月末まで、栄町・印旛村・本埜村在住の利用者の皆様には、印西市在住の利用者と同様のサービスを提供して参りましたが、10/2より次のとおり利用内容を変更いたしますので、ご理解ご協力お願いいたします(印西市に在勤・在学の方は除きます)。

- ・ パスワード使用の停止
- ・ 印西市立図書館に未所蔵資料のリクエスト受付停止
- ・ 予約件数が5件以上ある資料の予約受付停止
- ・ 電話でのリクエスト受付の停止



図書館 人気の本

(平成19年9月26日現在)

トップ1・2とも新作が登場。宮部・東野両氏の人気衰えず！

楽園(上下)	宮部みゆき/著
夜明けの街で	東野圭吾/著
名もなき毒	宮部みゆき/著
夜は短し歩けよ乙女	森見登美彦/著
女性の品格	坂東真理子/著
カシオペアの丘で(上下)	重松 清/著
一瞬の風になれ(～)	佐藤多佳子/著
使命と魂のリミット	東野圭吾/著
鈍感力	渡辺淳一/著
陰日向に咲く	劇団ひとり/著

上記の本は非常に人気があり、リクエストをしていただいても長期にわたりお待ちいただくこととなります。ご了承下さい。
上記のうち、ご自宅に不要になった本がございましたら是非図書館にご寄贈ください！

この本、
おすすめです！

秋といえば...みなさまはどんな言葉を思い浮かべるでしょうか？

スポーツの秋、芸術の秋、学問の秋、行楽の秋、睡眠の秋...ん？ だんだんおかしくなってきたぞ...それはともかく、忘れてならないのは「読書の秋」そして「食欲の秋」ですよね！ 今回のテーマは「美味しいもの」。美味しいものといっても料理本とは限りませんよ！



「甘露なごほうび」 渡辺満里奈 / 著 (角川書店)

女優の渡辺満里奈さんが書いたエッセイです。彼女のピラティス通・台湾通は特に有名ですが、おいしいもの好きでも有名だとか。そんな彼女の、好奇心いっぱいにかかれた、食べ物にまつわるエッセイは、日本だけでなく、旅行先のパリ・台湾・ミラノ・ニューヨークのお店も紹介されています。おいしいものが好きな方はもちろん、旅行好きの方にも、楽しい一冊です。

「こげぱん旅日記シリーズ」 たかはしみき / 著 (ソニー・マガジズ)

「こげぱん」は、ファンシーグッズキャラクターであると同時に、4コマ絵本もたくさん出ていて大人気です。このこんがりとしたこげ茶の美しさ、色えんぴつのグラデーションは、何度も塗り重ねたものだと制作秘話を読んで知りました。旅日記シリーズも、全国のパン屋ガイド本であっても写真ではなく、こげぱんワールドのままで、特に北海道や沖縄編は必見です。景色や夜景の深い色合いは飽かず眺めてしまいます。



「花の下にて春死なむ」 北森 鴻 / 著 (講談社)

ビアバー「香菜里屋」の客から持ち込まれる謎に、天才的閃きをもって鮮やかな推理をみせるマスターの工藤。そんな彼の活躍 6 編が連作として収められた本書は、もちろんミステリーとしても読み応え充分なんですが、ここで注目したいのは、その謎の内容とか推理する過程ではなく、このバーで出される創作料理の数々と度数の違うこだわりの4種のビール。文章による描写だけで、香りが鼻まで届いてきそうです。あ～、おいしそうだ～。是非ビールを片手にお読み下さい。

表紙画像は出版社に許諾を得て掲載しております。

図書館についてのお問い合わせは、

もより
最寄の図書館まで！

大森図書館	・・・	4 2 - 8 6 8 6
小林図書館	・・・	9 7 - 0 0 0 5
そうふけ図書館	・・・	4 5 - 2 5 6 6
小倉台図書館	・・・	4 7 - 5 5 1 1

編集
後記

9 / 6 の台風は凄まじい勢いで関東を通り過ぎていきましたね。実はその日、どうしても外せない用事があったため、東京に行かなくてはならず...帰りの電車は案の定「運行見合わせ」状態になってしまいました。結局家にたどり着いたのがなんと午前 4 時過ぎ！ でも、ゆっくり電車で本が読めたのでよしとしよう！ (T・A)